

### 3. 玖珠家畜市場における子牛の市場性向上に係る取り組み（第2報）

玖珠家畜保健衛生所・大分家畜保健衛生所<sup>1)</sup>

○飯田 賢、病鑑 中野 雅功<sup>1)</sup>、(病鑑) 利光 昭彦  
(病鑑) 川部 太一、中西 年治

当所において H21 年度より、生産履歴表示カードによる情報提供の充実と、特定の疾病に対する見舞金制度の創出を柱とした、魅力ある家畜市場づくりと子牛の市場性向上に係る取り組みを実施しており、H21 年度大分県家畜衛生並びに畜産関係業績発表会において報告した。その結果、対象農家の拡大、購買者との交流促進等の成果を得る一方、いくつかの課題もみえてきたので、今後の取り組みを踏まえ、その概要を報告する。

#### 【取り組み状況】

- 1 研修会・講習会による啓蒙：地域や JA 単位で開催される研修会等で本取り組み内容と期待できる効果について、計 5 カ所、400 人以上を対象に説明。
- 2 生産履歴表示カード：当初、モデル農家 2 戸を対象に実施していたが、本年 11 月市場現在、対象農家は計 10 戸に拡大。
- 3 特定疾病に対する見舞金制度の創出：管内の取り組みが契機となり、本年 4 月より市場開設者が主体となり、大分県豊後牛生産者組織連絡協議会において県下すべての市場で実施。生産者から市場出荷牛 1 頭あたり 500 円を徴収、それを財源とし、10 月末現在、県内 2 件、県外 3 件の計 5 件、989,625 円の見舞金を支払っている。
- 4 購買者との交流促進：本年 2 月、S 県の農済診療所獣医師を講師に講演会を開催。本県産素牛の評価、求められる子牛生産についての理解を深める中で、本県産素牛の最大の購買県であり、S 県ブランドを支える素牛供給基地という観点から、情報交換・交流促進の重要性を認識。地域同士の交流会開催を企画するとともに 3 月及び 10 月に S 県を訪問、成育状況、評価・要望等について聞き取り調査を実施。
- 5 優良枝肉出荷者表彰の創出：共励会等に出品された県産素牛が上位の成績を収めた場合に、当該肥育農家及び繁殖農家に対して表彰を行う事業の創出を各関係機関で協議開始。

#### 【課題及び今後の取り組み】

- 1 生産履歴表示カード：研修会等により啓蒙・普及を図るものの、繁殖農家の大部分が高齢者、治療履歴の公表によるクレームへの懸念、即、市場価格の向上に繋がらない等から、容易に対象農家の拡大が図られない状況。そのため、JA、振興局等の技術員との連携を強化するとともに、購買者のへの調査を継続して実施し、対象農家の拡大を図る。
- 2 購買者との交流促進：S 県への調査により、血統構成、飼養方法等必ずしも購買者側の求める素牛生産となっていないことが判明。S 県のニーズにあった子牛生産技術の確立を目的に、当初本年 7 月に計画していた S 県及び当地域畜産婦人部の合同研修会・意見交換会を H23 年 1 月に開催予定。また、情報交換の促進を図るために、2 年に一度、本県と S 県交互に交流会を開催することで概ね合意。
- 3 優良枝肉出荷者表彰の創出：玖珠家畜市場全体の取り組みであるため当地域単独での実施が困難。市場開設者、各地域との連絡調整が必要であり、年内の実現に向け協議中。